



地域住民の声を市政に生かし、住みよいまちづくり

市と町内会との懇談会 が開催されました

☎まちづくり支援課 ☎⑤16725

市町内会連合会（工藤行雄会長）が主催する「市と町内会との懇談会」が、8月19日から27日まで、市内6会場で開催されました。

町内会は、よりよいまちづくりのため自主的に活動しています。この懇談会は、町内会の活動や暮らしの課題を町内会役員と市職員が一堂に会して話し合う場となっています。

今回開催された懇談会には、市からは小山田久市長、各部長らが出席。町内会からは役員など6会場に合わせ131人が出席しました。

懇談会では、初めに市から①雪対策、②（仮称）市民交流プラザの概要、③セーフコミュニティの地域の取り組みといった、今年度の主要な施策について説明を行いました。市では、事前に町内会連合会を通して提出されていた195件の要望事項について回答しており、出席者からは、それらの内容を含め、行政に対して質問や意見、要望が相次ぎ、市担当者からの回答に聞き入っていました。

小山田市長は「一人一人のまちづくりへの参加による住民自治と行政自治が一緒になって、協働のまちづくりを進めていきたい」と、協力を呼びかけました。

■主な質疑応答

発言 雪寄せ場が市内中心部にないので、作ってほしい。

回答 除雪の作業効率を高めるため、請負事業者の雪寄せ場を100カ所に増やしたいと考えているが、ほかに市民のかたが利用できる場所の確保を検討したい。

発言 高齢者などの世帯では除雪も大変だ。

回答 高齢者が住む家の玄関前から道路まで除雪する「まごころ除雪」制度がある。利用条件があるので、土木課まで問い合わせていただきたい。

発言 中央公民館の生涯学習機能はなくなるのか。

回答 中央公民館の機能は（仮称）生涯学習センターに移し、スポーツ・生涯学習課がサポートする。



発言 湖畔への観光拠点施設整備についての見通しはどうなっているのか。

回答 環境省のビジターセンターなどの機能も考慮し、拠点施設の中身を十分検討していく必要がある。合併特例債が平成31年度まで活用できるので、現在検討しているところである。

※懇談会の当日配布資料は、市のホームページまたは、まちづくり支援課でご覧ください。



町内会に加入しましょう！

皆さんの身近な生活環境を支えているのは町内会です。住みよい生活環境を維持し、安全・安心なまちづくりを進めるため、町内会に加入し、一緒に活動しましょう。

※ご加入希望のかたは、お住まいの地区の町内会長、役員または下記までご連絡ください。

☎市町内会連合会事務局 ☎⑤16783
まちづくり支援課 ☎⑤16725